

令和4年度 天童市学習支援室リバテラスちえふる

# 通信「ちえふる」9月号

## 信頼される人になるために大切なこと

ある調査によると企業が人材を見極める上で重視することのひとつに【素直さや誠実さ】を挙げています。

『素直さ』とは、「表裏がなく、人によって態度を変えないこと」、「自分の失敗やミスをした場合は、認めて謝ることができること」です。

『誠実さ』とは、「目標をもち、達成に向けて一生懸命取り組む様子が見られる」、「努力を継続している」、「有言実行」、「嘘をつかない」、「約束を守る」、「責任感があり、任されたことは最後までやり遂げる」、「相手の立場に立って考え行動し、一貫性がある」、「私利私欲に走らない」ことです。

私たちは、様々な人との関わりの中で生きています。自分は相手や周囲からどのように思われているのか気になります。【素直さや誠実さ】を身に付けていれば、「信頼」を得られ、相手との信頼関係を築くことにつながっていきます。

「結果を出せば信頼は得られる」、などと安易に口に出す人がいますが、そう簡単なことではありません。結果を出しているのに信頼されないという人も中にはいます。

信頼とは、決して一朝一夕で生まれるものではありません。日頃から【素直さや誠実さ】に結びつく言動・行動・態度を積み重ね、それらの行為が習慣化できるようにしていきましょう。

さらに、職場の上司や同僚から信頼を得られるようにするためには、「(自分のために時間を割いてくれたことに対して)感謝の気持ちを伝える」、「連絡は早めに返す」、「同じ注意を何度もされないように」、「なぜミスしたのかを考えて行動する」、「言葉遣いに気を付ける」ことにも心がけていきたいものです。



## 「今日も生涯の一日なり」 一般の方の利用も増えていきます！



「資格をとるために」、「趣味の勉強のために」、「静かな場所で読書をしたいから」などの理由で、一般の方々が当室を訪れ、利用する姿が増えてきています。写真のように、室内のフリーWi-Fiを利用して、パソコンやiPadで調べたり、動画を

視聴したりしながら当室で有意義に過ごす姿も見られます。そのような姿を見ていると福沢諭吉の言葉、「今日も生涯の一日なり」が思い浮かびます。その日その日を精一杯生きるという意味ですが、先月号で紹介した「而今(にこん)」にも通じる言葉だと思います。「時間は有限。使い方は無限。」という言葉もありますが、利用者の方々の主体的に学びに向かう姿勢は、充実したくらしづくりに繋がっているように見えて、とても感心させられます。

これからも当室が生涯学習の振興・発展に寄与する施設として、また、市民の皆様をはじめ多くの方々に利用していただける場所になればと大いに期待しています。空いている午前中が特にお勧めです。どうぞお気軽にご来室ください。

## 赤本7冊寄贈 善意に感謝



以前から当支援室を利用してくれている三森真生さん(現在、県外在住の大学4年生)が、この度の夏休みに帰省した際、当室に赤本7冊を寄贈してくださいました。大変有難く頂戴しました。

どうぞご活用ください！

学習支援室の情報については、QRコードからもアクセスしますので、ご覧ください。

